



すこやか洞爺湖

健康福祉センター ☎ 76-4006

全国的にはしか流行 予防接種を受けましょう

近 年全国的に麻疹(はしか)が流行しています。北海道でも室蘭地区で患者が多く発生し、心配された方も多いでしょう。

なぜ流行が 起こったのでしょうか？

可能性として考えられるのは
① 免疫の低下です。1回はワクチン接種を受けて免疫ができたけれど、だんだん免疫の記憶が弱くなって、効果が下がってきいた人が多いからです。② 10代後半ではワクチン接種をしていない人が多いため、若い学生の間で集団感染が続発しているのです。

麻疹はどんな 病気でしょう？

空気感染をし、咳、くしゃみがかからなくても患者さんと同じ部屋にいただけで、免疫のない人の90パーセントが感染すると言われています。この感染力な

んとインフルエンザの6倍にもなります。感染するとほとんどの人に高熱や発疹の症状が出ます。まれに肺炎や脳炎を起す恐ろしい病気です。また10日あまり高熱が続くので体がとても弱ります。

対策は？

ウイルスのため治療法はなく、予防接種が一番です。現在免疫をしっかりとつけるため2回接種することになっています。

麻疹は例年、春から初夏にかけて流行の最盛期を迎えるため、今後も注意が必要です。もし発熱、咳、発疹など疑わしい症状が出たら、早めに病院で診察を受けるのがお勧めです。特に未接種あるいは過去の接種から10年以上経過した29才以下の人は免疫がなかったり、低下している可能性があります。進学、就職など新しい環境に入る機会に、任意自費で予防接種を受けることもお勧めします。

麻疹・風疹予防接種が 4月から変わります

従来の1期―生後12カ月以上24カ月未満の者、2期―5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間に加えて、平成24年までの間は、3期―中学1年生相当世代(年度内に13歳になる者)―4期―高校3年生相当世代(年度

内に18歳になる者)が定期予防接種対象者になります。

対象の方には個人通知でお知らせしますので、体調のよい時に必ずお子さんに受けさせてください。

疑問なことがありましたら健康福祉センター(☎ 76-4006)へ。

すこやかな妊娠と出産のために

妊婦健診を受けましょう

平成20年4月1日から、助成回数を
妊婦一般健康診査
は、1回から最大5回に

超音波検査

は、全員に拡大します

母子健康手帳を交付した時に、妊娠週数に応じた「妊婦一般健康診査受診票」と「超音波検査受診票」を交付します。すでに交付を受け該当する方には、ご案内を送ります。

＜お問い合わせ・交付窓口＞

健康福祉センターさわか

洞爺湖町栄町63番地1 ☎ (0142) 76-4006

